

令和5年度ウッドもっとなぐ事業 信州ウッドコーディネーター成果報告会 次第

日時：令和6年3月12日（火） 14：00～15：40
場所：オンライン配信（WEBEX）

1 開 会

2 あいさつ

3 内 容

時間	内容	講師
14:05～14:10	「ウッドもっとなぐ事業」概要について	長野県林務部信州の木活用課 県産材利用推進室
14:10～15:30	信州ウッドコーディネーター活動事例報告	信州ウッドコーディネーター
15:30～15:40	質疑応答等	

4 閉 会

アンケートのお願い

報告会・その他ご意見等について、アンケートに御協力いただきますようお願いいたします。

<https://forms.office.com/r/pph5v3Fs59>



令和5年度 ウッドももっとつなぐ事業の概要

長野県 林務部 信州の木活用課 県産材利用推進室

ウッドもっとなつなぐ事業の概要

- 信州ウッドコーディネーターを8名配置し、木材加工事業者における**水平連携**や、川上から川下までの**垂直連携**を**サポート**するとともに、事業者の**営業力強化**などを図り、**安定した県産材の流通体制を構築**するとともに、地域における**木質バイオマスの循環利用の仕組みづくりに必要な施策**等を**研究**する場を設置する。
- R5予算額 **7,000**千円（森林環境譲与税）

信州ウッドコーディネーターの役割

- 【定義】県等から依頼を受けて、都市部自治体等への**県産材製品のPR、商談の場の創出**等に加えて、県内木材加工者同士の連携体制（**水平連携**）の構築支援や川上から川下までの連携体制（**垂直連携**）の構築支援を行うとともに、地域における木質バイオマスの循環利用の**仕組みづくりに必要な施策等への助言**を行う。（呼称：Cood.）
- 県は、上記のようなコーディネーター活動に対して、**旅費、報償費を支給**する。
（委託事業により受託者から支給）

事業スキーム

依頼者

素材生産者、製材工場、
設計士・工務店等

市町村

県
(県産材利用推進室、
地域振興局林務課等)

依頼

・依頼内容に沿った活動の実施
(【定義】に記載された内容に準じたもの)
※依頼がなくても、上記の活動は実施可能
・活動期間：R5.4月～R6.2月

信州ウッドコーディネーター
(Cood.)

旅費・報償費の支払い

報告

県から委託を受けた事業者
(ウッドもっとなぐ事業)

【業務内容】
活動内容の確認&支払い事務、
マッチングイベント等や会議の企画・運営

成果報告、情報共有、協力依頼

信州ウッドコーディネーターへ期待する活動内容

これまでの活動内容

都市圏自治体へ県産材製品PR（訪問）

商談の場の創出

情報のフィードバック

製品企画提案

市場ニーズの把握

新たに期待すること

水平連携構築支援

垂直連携構築支援

市町村施設木造・木質化支援

地域における木質バイオマスの循環利用の仕組みづくりに必要な施策等へ助言

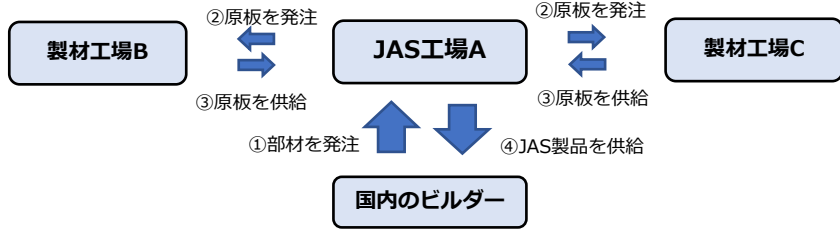
県産材製品の情報発信（SNS等）

水平連携の事例

▶ 県内製材工場が連携して県産材製品を出荷

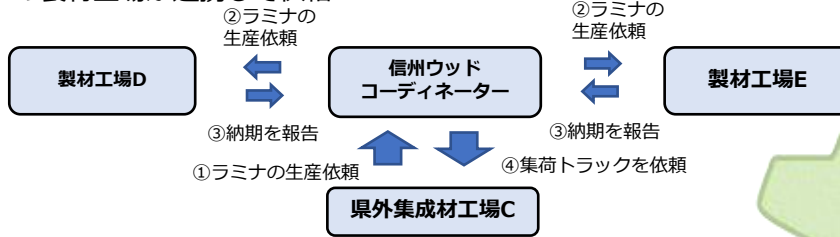
○ JAS製品共同出荷型

▶ 地域の木材加工事業者が連携して原板をJAS工場へ供給し、JAS工場で乾燥や格付け等を行い、JAS製品として出荷



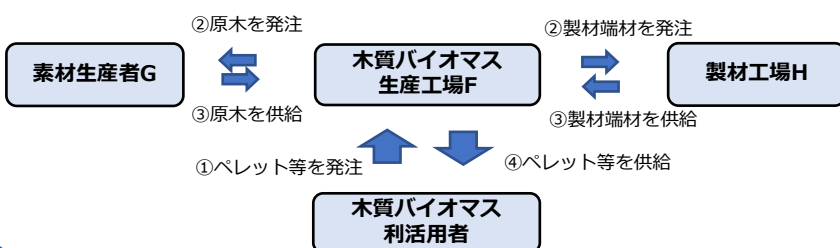
○ 県外集成材工場向け県産材ラミナ供給型

▶ 県内外の集成材工場からの定期的な県産材ラミナの需要に対して県内の製材工場が連携して供給



○ 木質バイオマス生産・利活用型

▶ 地域の素材生産者、製材工場が木質バイオマスの原料を生産工場へ供給し、ペレット・チップとして出荷

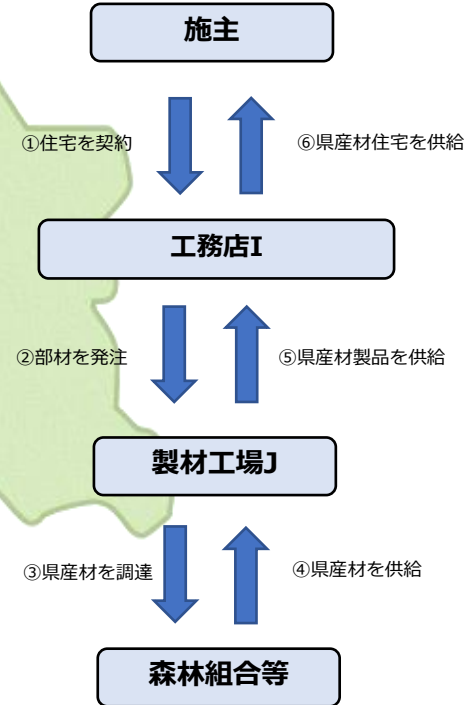


垂直連携の事例

▶ 工務店（住宅メーカー）と製材工場、森林組合が連携して住宅や部材を供給

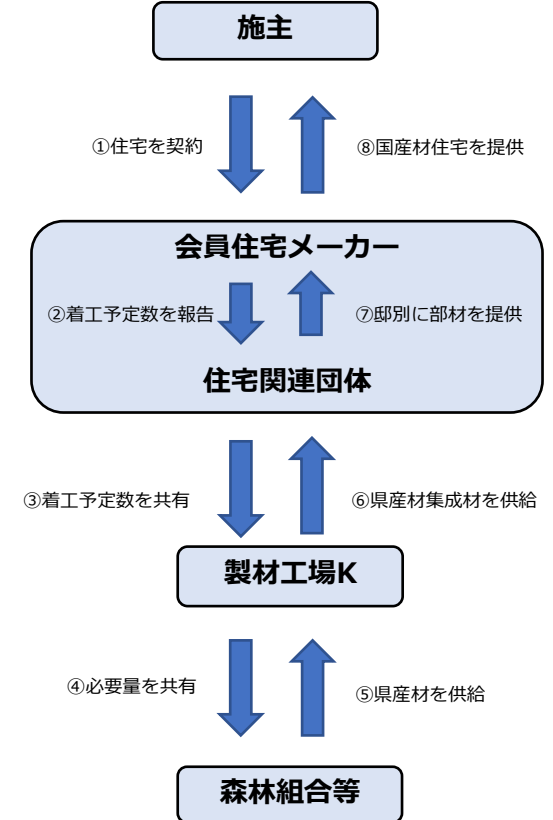
○ 地域密着型

▶ 地域の工務店と製材工場が連携して、県産材を活用した住宅を供給



○ 県内外の大型需要対応型

▶ 地域の製材工場と県森連が連携して、県産材製品を住宅関連団体会員の住宅メーカーに供給



事業者間の契約・協定締結、連携体制をサポート



信州ウッドコーディネーター

信州ウッドコーディネーター 令和5年度活動事例報告

北村 俊夫

【活動実績】

①信州の森元気玉プロジェクト（仮）

・活動内容：県産材使用量に応じた認証制度の提案のためのヒアリングを行った。

2021年3月ごろから始まった世界的な木材不足や木材の高騰により住宅産業に大きな混乱が起きた。いわゆる「ウッドショック」である。我が国の構造材（製材・合板用材）の木材自給率は約20%であり、リスクヘッジの一手として県産材の利用が挙げられる。しかしながら県産材の製造業者は小中規模のため供給量が限られており、無いからすぐに欲しいでは対応できないのが現状である。そこで、ハウスメーカーやビルダー、工務店に普段から10～25%の県産材を利用してもらい需要を平準化し、県産材の安定供給や新規参入を狙うのが本認証制度の目的である。使用量に応じた認証制度を設けることで施主へのPRや補助金への紐づけをしたいと考えた。そこで県内企業に認証制度に対するヒアリングを行った。

・主な成果、今後の課題

県内のビルダー3社にヒアリングを行った結果3社すべてから賛同を頂いた。要望として、県産材の商品やコストについて情報を充実して欲しい、認証制度にインセンティブ（使用量に応じた住宅補助金の上乗せ等）が欲しい等があった。今後、認証制度の具体化や商品情報の整備、県内ビルダーやプレカット工場、県産材供給会社へのヒアリングを行う予定である。

②木造化のサポート

・活動内容：鉄骨造から木造にするための構造計画のサポートを2件行った。

①県内某ゼネコン：鉄骨造4階建て事務所の木造化提案→事務所は壁量が少ないため19.5倍の耐力壁でなんとか成立する結果となった。

②県内某設計事務所：鉄骨造1階建て事務所の木造化提案→多雪地域であったが平屋のため6.6倍の耐力壁で成立する結果となった。

長野県 林務部 信州の木活用課 県産材利用推進室「ウッドもっとなぐ事業」

令和5年度の活動成果と令和6年度以降の活動計画

チーム信州の木プロジェクト

～「信州の木」をもっとなぐ、つくり手とつかい手をもっとなぐ～

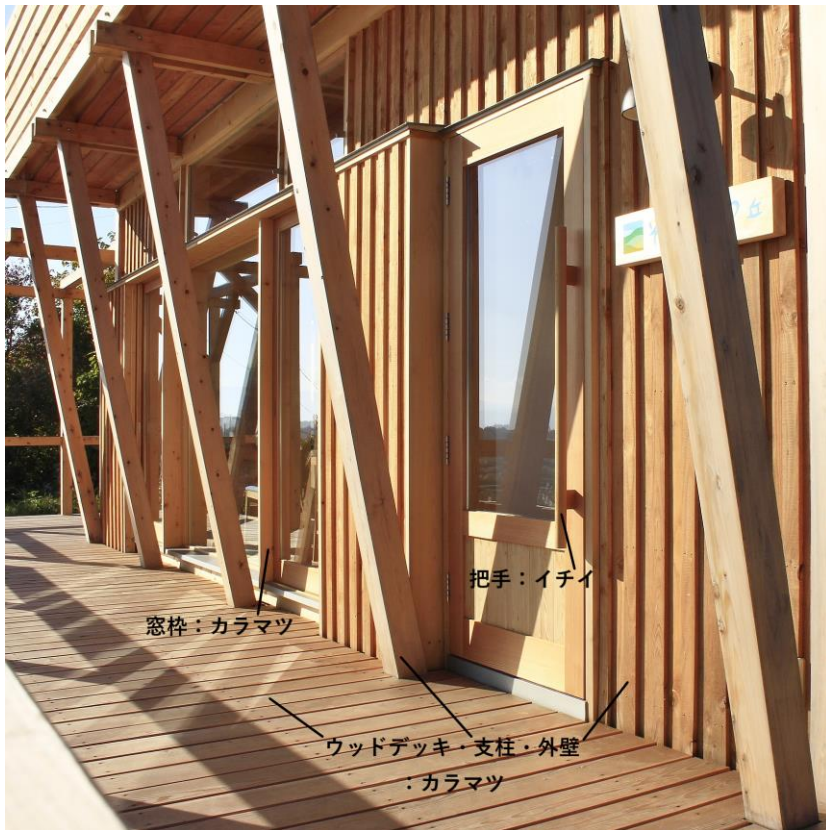
2024年3月12日

信州ウッドコーディネーター 香田 るい

1. 「チーム信州の木プロジェクト」概要
2. 「適材適所」に生かす知恵と技術の継承
3. 「適材適所」は「木の文化」の真髄
4. 「信州の木を適材適所に」活用する
5. 赤堀楠雄氏の著書「いきいき信州の森林」を木工家へつなぐ
6. 卓越した技術や熱意ある匠を、点から線へ、線から面へ
7. 木工家向けの講習会開催、森林の現地見学と木材調達
8. 作品制作と作品発表および受注会、県内巡回展の企画
9. 産業労働部・環境部・観光部との共創
10. 「チーム信州の木プロジェクト」はゼロカーボン達成に貢献



信州は青空と太陽に育まれる豊かな森林に恵まれ、信州人は木と共に年輪を重ねてきました。その地形と気候から多様な木が育ち、「**適材適所**」に生かす**知恵と技術を継承**してきました。人工林の針葉樹、天然林の広葉樹、外来種の街路樹など、木にはそれぞれ役割があります。



写真： [そらいろの丘®](#)

背高く育ち耐水性と耐久性に優れるカラマツは、ウッドデッキ・支柱・外壁に（写真左）粘り強く曲げや引張に強いアカマツは梁に、耐久性に秀で木肌が艶やかなヒノキは柱に、断熱性や調湿性に優れるスギは天井に、堅くて手触りよい広葉樹は床や家具に（写真右）木の芸術品と言われるピアノには、選りすぐりの木がかたちを変えて生き続けています。さまざまな樹種のそれぞれの特長を生かす、「**適材適所**」は「**木の文化**」の真髄です。



写真：そらいろの丘®

森林面積も森林率も全国第3位の長野県では、なぜ「その他広葉樹」と扱うのでしょうか？
県土の約8割が森林の長野県では、日々の暮らしの中で「信州の木」に親しんでいますか？
家具に使われる大径木のナラが薪に、お椀に使われる尺上のヤマザクラが燻製のチップに、
お世話になった今は亡き飛騨の匠の「そんなことしたらダチカン！（飛騨弁でダメだの意）」
という声を聞き、「信州の木を適材適所に」活用するアクションを活動テーマに掲げました。

「信州の名工」で「信州木工会」の会長で「木工家ネット」を主宰される谷進一郎氏より、赤堀楠雄氏の著書「いきいき信州の森林」を信州の木工家につないでゆくために、木工家向けの講習会を行い作品制作して発表する場を企画しては？とご提案いただきました。

「木工家」とは、「職人」と「作家」の要素を持ち、自然が育んだ「木」と先人から受け継いだ「木工」という技や造詣をリスペクトし、良いものを残そうという「志」を持った生き方・働き方をする人（谷進一郎氏「木工家の時代を考える」より抜粋）



長野県公式観光サイト [Go NAGANO](https://www.go-nagano.jp/) より



全国各地の森林を取材しその現状や課題など幅広く伝えてくださっている林材ジャーナリスト 赤堀楠雄氏より「椅子や器なら誰でも親しみやすくリピートする楽しみがある」と、つくり手（木工家）とつかい手（消費者）がふれあう場を創出する作品発表および受注会（県内巡回展）の企画に賛同のお言葉をいただきました。

北アルプス広葉樹活用を先導する株式会社山川草木 香山由人氏より「一般の消費者に信州の木活用の木工品を知ってもらう場として身近なところで展示会があるのはとてもよい」と、木工家が森林へ（現地見学）、作品制作のための木材調達（伐採→製材→乾燥）をご指導いただくことになりました。



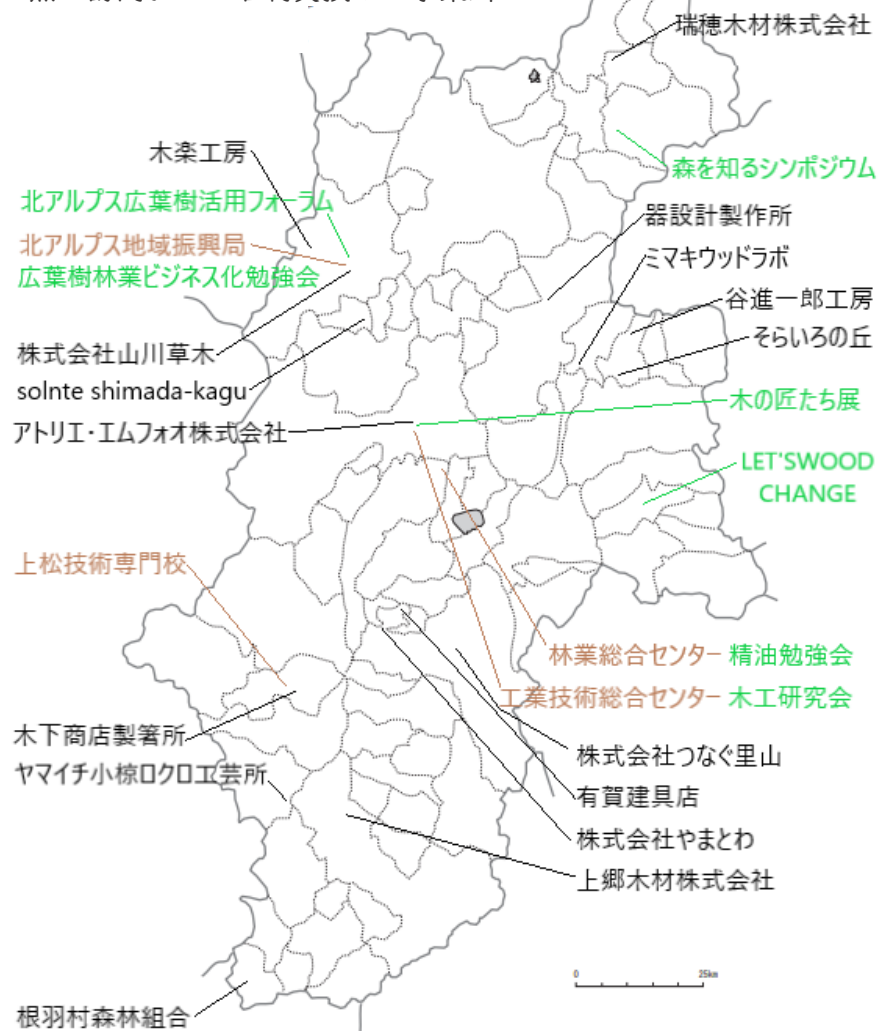
[企業組合 山仕事創造舎](#) 相談役紹介より

【令和5年度の活動成果】 「ウッドもっとなぐ」 ための情報収集

緑：参加した勉強会・視察した展示会

茶：上記開催および関連の県施設

黒：訪問および名刺交換した事業所



卓越した技術や熱意ある匠が各々の市町村で活躍
その点を線に、その線を面にすることで、
もっと深く根を張り、もっと幹を太くして、
「森林県から林業県へ（阿部知事談）」



国指定の伝統的工芸品はすべて広義の「木の文化」
木曾漆器・信州紬（桑の木の葉で育まれる）・飯山仏壇
松本家具・内山紙（楮でつくる）・南木曾ろくろ細工
信州打刃物（草木を刈る）/ 指定順



「チーム信州の木」は、
信州の木を“もっとなぐ”同志を集い、
「チーム信州の木プロジェクト」は、
つくり手とつかい手を“もっとなぐ”場を創出
山国信州が年輪を重ねてきた「木の文化」に
気づき、学び、日々の暮らしで親しむことを誇りに



令和6年度より「チーム信州の木」として情報発信

【令和6年度の活動計画】 木工家向けの講習会・森林の現地見学と木材調達



7月上旬：「信州の木」活用をテーマにした木工家向けの講習会（写真：令和5年度の木工研究会より）



10月中旬：現地見学と木材調達（写真：左・中は「北アルプス広葉樹活用フォーラム」、右は有賀建具店より）

【令和7年度の活動計画】 作品制作と作品発表および受注会



©大久保公太郎



©村上富朗



©谷進一郎



©そらいろの丘

6～8月：作品制作（第1回の作品テーマはテーブルウェアと椅子で「一器一脚展」に、テーマを代えて継続）



9～11月：作品発表および受注会「県内巡回展」（写真：令和5年度に視察した「木の匠たち展」より）



樹齡250年を超える「七色大カエデ」池田町大峰高原にて撮影

「チーム信州の木」は県庁内を“もっとつなぐ”ことも大切な役割、一本の木に例えるなら林務部はもっと根を深く、産業労働部はもっと幹を太く、環境部や観光部は葉や花をひろげ鳥や虫たちを集める。[《長野県SDGs推進企業》](#)や[《くらしふと信州》](#)と共創することから、**【つくる責任 つかう責任】** **【陸の豊かさを守ろう】**そしてゼロカーボン達成に貢献します。

チーム信州の木プロジェクト

林野庁「ウッドチェンジ」



「ウッドチェンジ」のサイクル
「つ」が頭文字のつなぐアクション
循環

ゼロカーボン達成 2050年

令和5年度 気づき

つとめる
育てる

つくる
伐る
広葉樹も適材適所に

「木の文化の国」再構

信州の木をもっとつかう！
信州の森をもっとつなぐ！
ウェルビーイングな信州

県産材製品の情報発信事業
長野県SDGs推進企業
くらしふと信州の共創

SDGs達成 2030年

令和6年度 学ぶ



つくる責任 つかう責任
陸の豊かさを守ろう

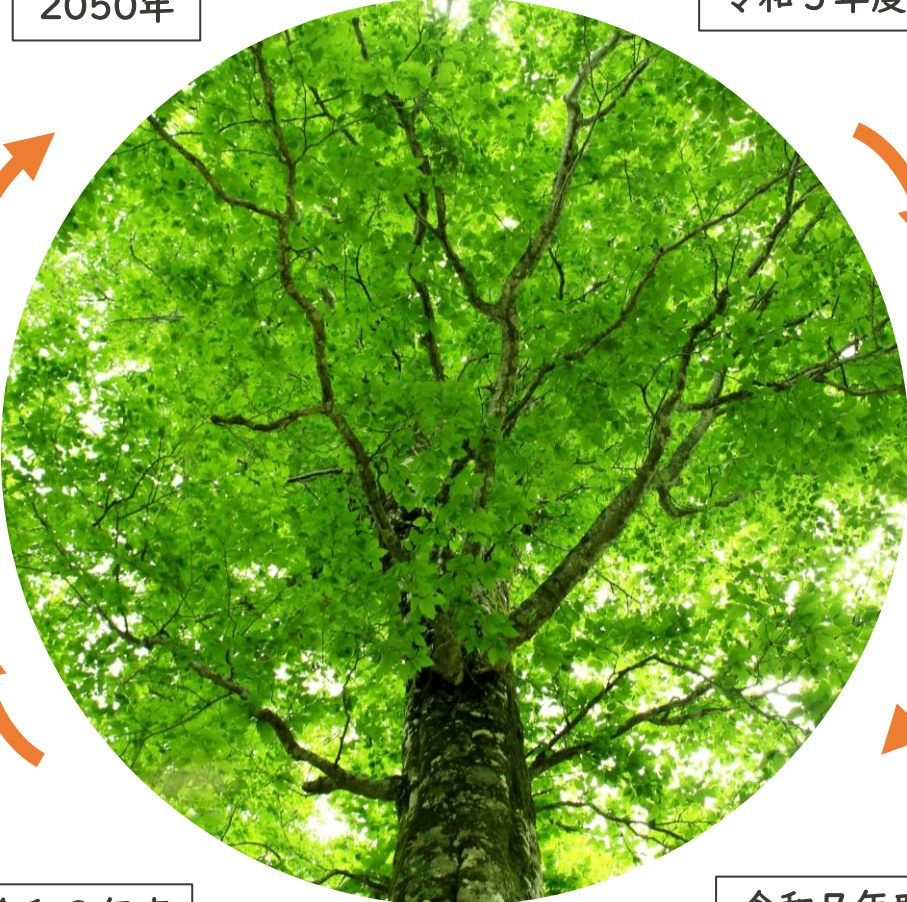
信州の木を生かした
「一器一脚展」開催

移住者増 つづける
植える

使う
つたえる
観光客増

巡回展売上の一部を川下から川上へ同志を募り植樹
考える
令和8年度

令和7年度 親しむ
県民が率先して
もっとつかう！
信州の木を誇りに



“Queen of the Forest” と呼ばれるブナ
長野市鬼無里「奥裾花自然園」にて撮影

林務部「ウッドももっとつなぐ事業」

信州ウッドコーディネーター 令和5年度活動事例報告

佐藤 健太

① 姉妹都市・交流都市との活動

・神奈川県三浦市（須坂市）

須坂市副市長と三浦市役所を訪問。

現在、計画が進められている三浦市役所新庁舎の建設に
須坂市産の木材を提案中。

・神奈川県海老名市（須坂市）

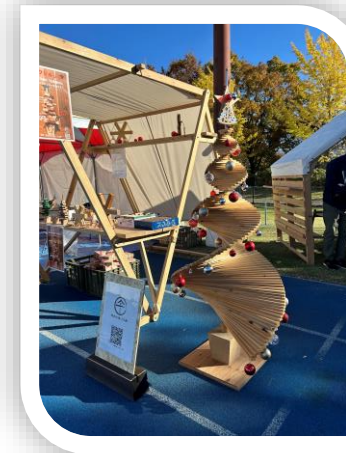
須坂市副市長と海老名市役所を訪問。

海老名市民祭りに参加。木工ワークショップを開催。

R6年の予算に須坂市木材を使用した学童机天板とCO屋13基を計画
していただく。

・千葉県流山市（信濃町）

現在、建設中の「白みりんミュージアム」に信濃町産の唐松を使用して
いただく。使用材積は原木で200m³程度。



海老名市民祭りに参加 須坂市産の木材で
クリスマスツリーの木工ワークショップを開催

信州ウッドコーディネーター 令和5年度活動事例報告

佐藤 健太

② 首都圏での長野県産材利用

・東急リニューアルプロジェクト「Green UNDER GROUND」

駒沢大学駅リニューアル工事 駒沢大学駅西口ビルの建設において構造躯体に長野県産の唐松集成材を採用していただく。

本プロジェクトはR4年度サステナブル建築物等先導事業に採択されており、今回採用した耐火・構造技術を導入した木造駅ビルは全国初となる。

所在地 東京都世田谷区上馬

地上4階建木造 延べ床面積約330㎡ 高さ約19m

長野県産材使用料 40㎡（集成材製品材積）

現在、東急建設様には山元への利益還元を目的とした長野県内での木材サプライチェーンの構築を検討していただいている。



東急 駒沢大学駅西口ビル
長野県産唐松集成材 建方状況

信州ウッドコーディネーター 令和5年度活動事例報告

佐藤 健太

③ 国立公園内での長野県産材利用

- ・ 環境省 信越自然環境事務所に長野県産材利用の提案

長野県内の国立公園

上信越高原国立公園 妙高戸隠連山国立公園

中部山岳国立公園 南アルプス国立公園

秩父多摩甲斐国立公園

国立公園内の木道、デッキ、木橋、階段などの景観土木資材に

長野県産材のスギの高耐久木材を提案する。

適正に処理された高耐久木材は屋外で30年以上の耐久性があるとされており、擬木や樹脂木、コンクリートや鋼製の代替えとして需要が見込まれる。これによりスギのB材C材の高付加価値化が図れる。

実績 上高地 木製デッキ R5

上高地 木道他 R6以降

乗鞍高原 デッキ・木道・木橋 R6以降

志賀高原 木橋・階段 R6以降



中部山岳国立公園 上高地
大正池 木製デッキ 長野県産材スギ 高耐久木材

鈴木 信哉

1. ⑨⑩木曾ひのきブランド化10周年を迎えて
～木曾谷の林業・木材産業を考える集い～

木曾エリア

2. C D材利用による木質バイオマス発電事業の
実務成功マニュアルポイント

東信エリア

3. 主伐期を迎えた林業・木材産業の現況と今後の
展望について（カラマツ・アカマツを中心に）

伊那エリア

主な成果：それぞれの課題毎に整理して発表

今後の課題：各々の関係者が方向性を見つけ活動

高国木曾ひのきブランド化10周年を迎えて ～木曾谷の林業・木材産業を考える集い～

ブランド材で

木曾地域の人工林ひのきは天然ひのきと同様の厳しい環境に育ち、材として非常に優れています。天然ひのきに劣らない質の高齢級人工林ひのきを「高国木曾ひのき」と名付けて10年となりました。これを契機とし、地域の林業・木材産業発展のため、ブランド材としてのさらなる普及を目指します。

令和5年（2023年）

10月18日 9:00～12:15頃

上松町ひのきの里総合文化センター

（裏面参照）

参加費無料

開場 8:30

開会 9:00



未来

をつくる

PROGRAM

- 1 特別講演「高国木曾ひのき誕生の経緯と木曾谷林業の将来展望」
- 2 事例動画「突撃！木曾のひのきはいったいどこへ？」
#まさかの長崎 #県産材への拘り #上質な木の家を」
- 3 講演「木の国・木曾の「文化と産業のシンボル」としての庁舎建設」
- 4 パネルディスカッション「木曾ひのきブランド材の今後を見据えて」
※同時開催：ブランド材製品・林業従事者フォトコンテスト入賞作品展示
- 5 限定企画：木曾町庁舎見学◀ 定員30名▶

GUEST



特別講演（コーディネーター）

すずき しんや

鈴木 信哉

ノースジャパン素材流通協同組合理事
（元中部森林管理局長）



講演

ちだ ゆうき

千田 友己

株式会社千田建築設計 共同代表
（木曾町役場本庁舎設計者）



【パネリスト】

植木 達人 信州大学学術研究院 教授

大屋 誠 上松町長

勝野 泰平 株式会社勝野木材 常務取締役

原田 浩幸 木曾官材市売協同組合 専務理事

郷原 辰実 木曾森林管理署長

（敬称略）

主催 中部森林管理局木曾森林管理署

共催 木曾官材市売協同組合・木曾木材工業協同組合

後援 長野県木曾地域振興局・木曾郡町村会・木曾郡町村議会議長会・木曾地域木材産業振興対策協議会

長野県木材協同組合連合会・長野国有林森林整備協会

（順不同）

問い合わせ先 中部森林管理局木曾森林管理署 tel: 0264-52-2083

木曽谷林業の将来展望

① 天然木曽檜の供給少量でも続ける

特上、上、並

- ・ 特上があるから上、並の単価に理解
- ・ 国宝・重文、伊勢神宮は必須
- ・ 水害、土砂災害等受けた寺社仏閣等は原形樹種で復帰

② ○高○国の品質安定供給

- ・ どこの有名優良材産地でも、場所によって品質の差

・ 国有林伐採計画は、品質で◎、○、△、×を産地バランス良く計画。この年は全◎、この年は全×避ける(鉄則)。

- ・ 森林管理署合併前の署名を明示もあり。

例

産地
旧王滝署

③ ○高○国超々高齢級施業方針と特別表記を検討

- ・ 80年超えの高齢級施業方針が無いと伐採不能主張局もあった。
- ・ 150年、200年と超々長伐期にする場合の施業方針必須(全て、120年生で伐採終了にするのか?)
- ・ 150年超えてきたら、かつての木曽檜の基準と同一(○高○国150、○高○国200として檜の漢字を檜に変更)

④ ○高○国の業界認知度向上

- ・ 製品への記載もれなくして認知度向上(表示方法統一)
- ・ 全銘展等特別記念市に特別コーナー設置
- ・ 木住協、全建連、JBN等利用団体にPR

⑤ 表木曽・裏木曽時代も踏まえ協調

- ・ かつての天然木曽檜時代の仲間であり、岐阜材も認める。(加子母までOKだった。久々野は除くだった)
- ・ 一定量はブランド化には必須(伝統工芸品でなく、産業!!)
- ・ 最初の委員会から行政含め委員

木曽谷林業の将来展望

⑥ 高齢級人工林桧の扱い

- ・○国でなく、○民でも同じ品質のものの扱いは要検討
- ・あくまで、木曽谷としては同じエリア。
民・国の境界線にも桧はある。

⑦ 用途を多様的に開発・定着 (従前用途に付加)

- ・西日本のように「桧は土台中心」は、努力不足!!
- ・期待される用途

▽シ・アラスカ解散による最高級シトカスプルースの供給停止



高級建具用材としてのヒノキ桁平の製造

▽日本文化の本物志向としての欧米向け及びインバウ

ンド需要

スシカウンター、和食テーブル、風呂桶・本体

▽ホテル高級部屋向け

帝国ホテル・ホテルオークラ

▽窓枠は洋室でも変形しない木の桁目厚板

⑧ 主製品用丸太以外の有効フル活用

- ・格天業界皆減状態ー東北でも能代3軒
根張り強い伐根活用
- ・背板端材活用
木工屋・漆器屋とコラボ、最高級ハシ、サインボード等
最高級日用品に
- ・節だらけ材
クラフト作家向け木曽官材でインターネット販売
(代金先入?)

**要するに、すべてムダなく使うカスケード産地化し、
極力チップに出さない(最終的には、外壁材料や
枕チップ活用)**

⑨ 搬出コストを考える

- ・皆伐なら、架線式集材(タワーヤーダ活用も)
→全木集材で立木材積フル活用 ←→ 吉野林業と真逆
- ・択伐なら基幹路網整備ー林地傷めない作業路網も活用
- ・列状間伐では、巾をとり、残存木を傷めない

木曾谷林業の将来展望

ポイント

⑩ ○高○国以外にも関心向ける

- 優良ヒノキ産地 — ヒノキ以外関心なし
 - 優良杉産地 — スギ以外関心なし
 - 優良ヒバ産地 — ヒバ以外関心なし
- } いわばゴミ扱い

(1)カラマツ

有名メーカー全国の地区別強度を測定し記録

→ 最大強度は、開田高原 **秘**

今後米マツ入らなくなる。加えて品質もかつてのオールドグロスとは全く異なる。

(オールドグロス>ファーストグロス>セカンドグロス)

B材でも25,000~26,000円/m³

写真のような用途も!!



木曾谷林業の将来展望

ポイント

⑩〇高〇国以外にも関心向ける

(2)アカマツ

- ・全国松くい虫被害拡大で、未被害地だった岩手県北部、青森県にも一部侵入
- ・アカマツ需要は高い。銘建築は被害受けて修復は、同一樹材種指定(直近では名古屋城天守閣)
- ・岩手県盛岡市場には、全国からアカマツ調達に集客、ものすごく高値取引!



(3)広葉樹

今年もウッドショック継続中。更に、ウッドショック拡大中木曾の林業・木材産業の人はあまり関心がない

- ・販売班長時代、王滝氷ヶ瀬土場にバークに埋もれたその他Lの中にマカバあり、抜き出させて銘木市へ→50万円/m³
- ・局長時代、木祖村土場のLの山から銘木市出品(市日開催前日に搬入)、ホオノキの刀鞘用高値続出
- ・木曾谷の岐阜寄り、白太ほとんどないマカバの銘木エリア、絶対に高い。中央アルプス寄りはメジロカンバ。現在は、こちらもかなり高い。アカマツ山の中にあるのは太陽を求め上方成長するので通直で長材用材多い。林道走ると宝の山!!人工造林地の保護樹帯は既に130年~180年。国有林制度変更で伐採可に(2~3年前)。

現在高騰 : ナラ、クリ、ヤマザクラ、オニグルミ
かつての単価との大幅変化 : ケヤキ1/3、トチ3倍

木曾谷林業の将来展望

⑪地元加工工場の維持・拡大

・木材加工産地の絶対条件

- 同業ライバルが存在すること!!
- 多様な丸太を加工するカスケード型立地

・今後、廃業する工場があれば、経営者を広く募集し、従業員の豊富な能力を活用。

今は、民間企業にも補助金1/2

⑫木曾谷すべて木造化・木質化方針

人に勧めるのに、自分が率先して使う。
木曾谷は街道～一体となって進める。

- 京都、景観条例で、セブンイレブン、ファミリーマート、ローソンでも色が全く違うーコンビニの木造化急ピッチ
- 郵便局木造の走りは、山口県萩市景観条例
- 消防署木造の走りは、埼玉県秩父市
(消防署からは火が出なく、S藤木材工業がらみ)
- 小学校木造の走りは、長野県
(子供の雑巾がけは伝統と校長主張)

いろいろ述べてきたが、最後は島崎藤村で

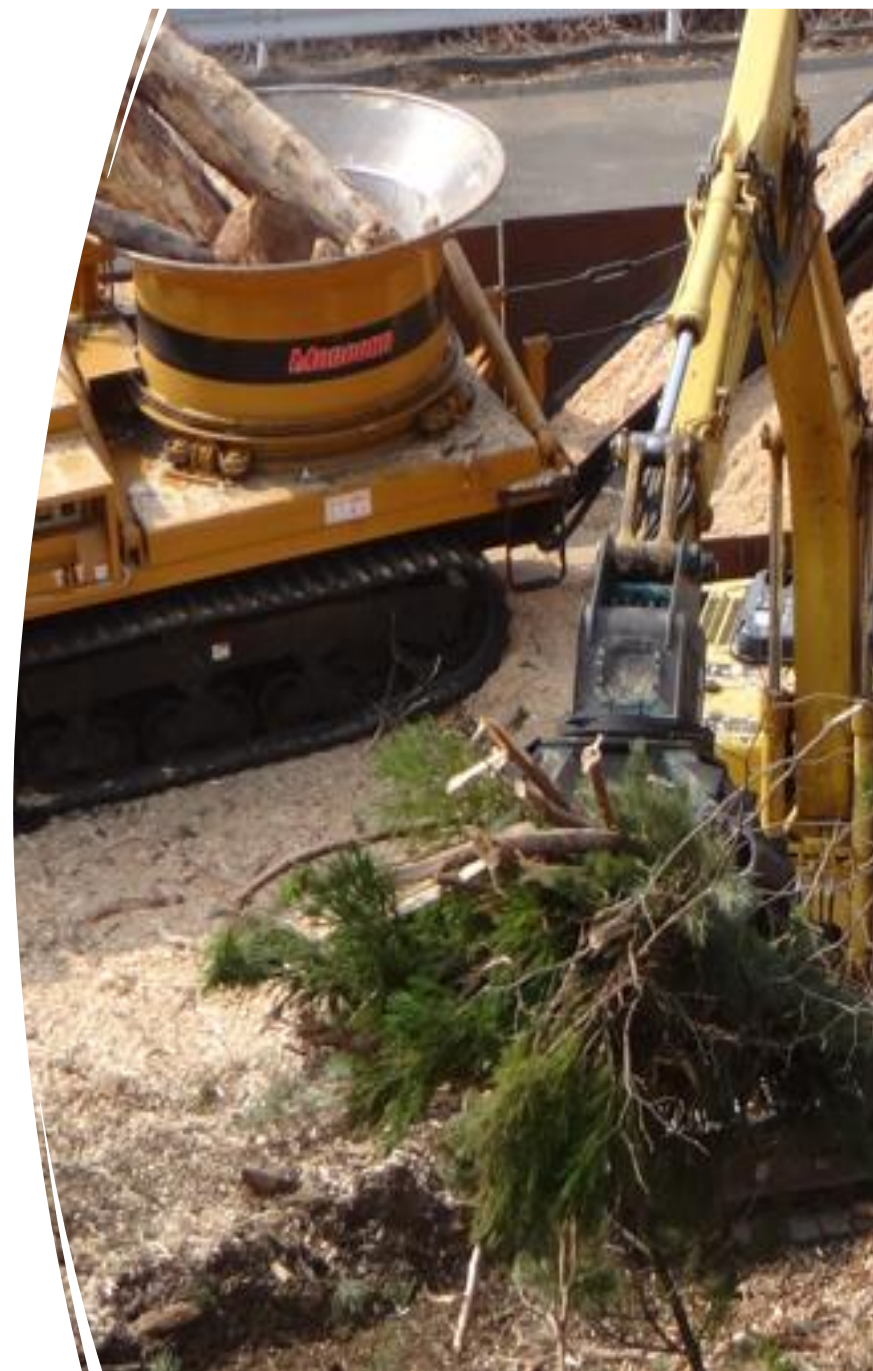
「木曾路は、すべて山の中にある」

C,D材利用による 木質バイオマス 発電事業の実務成功 マニュアル ポイント

令和6年1月16日（火）

ノースジャパン素材流通協同組合

理事長 鈴木 信哉



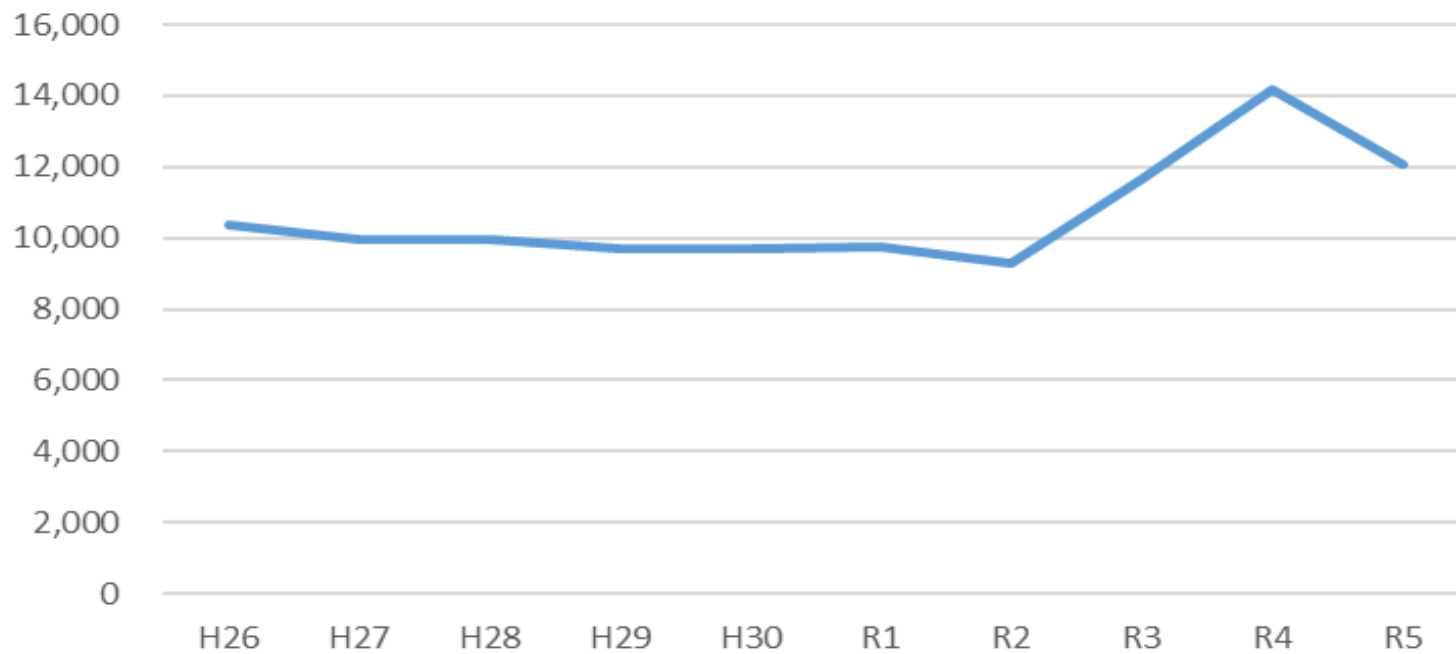
主伐期を迎えた林業・木材産業 の現況と今後の展望について (カラマツ・アカマツを中心に)



令和6年2月13日

ノースジャパン素材流通協同組合 理事長 鈴木 信哉

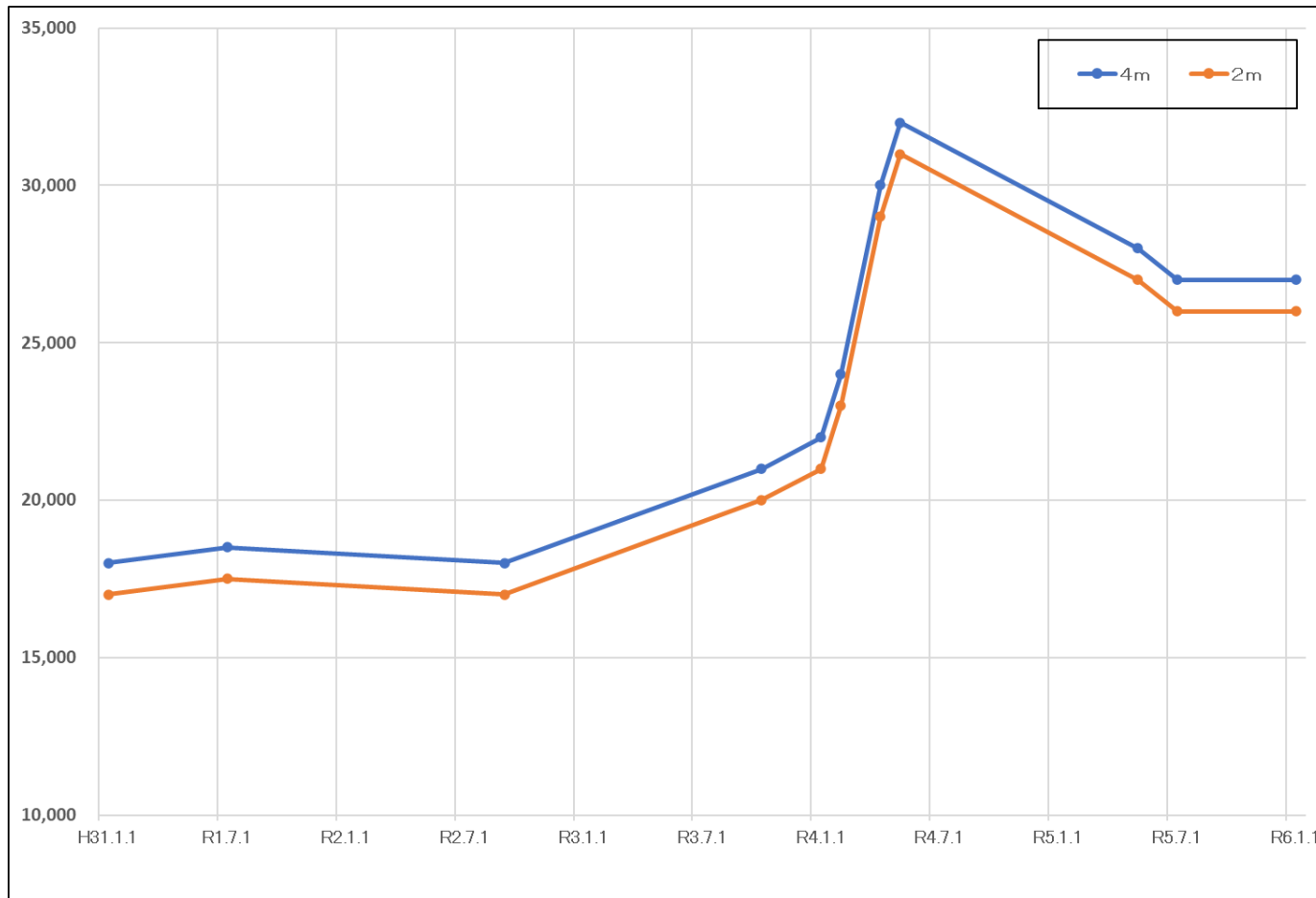
岩手県のまつ中丸太価格の推移



年	価格 (円/㎡)
H26	10,382
H27	9,942
H28	9,950
H29	9,675
H30	9,675
R1	9,742
R2	9,308
R3	11,675
R4	14,158
R5	12,083

※木材需給報告書より

カラマツ価格推移（R1年～R6年）



カラマツ価格推移	H31.1.1	R1.7.1	R2.9.1	R3.10.1	R4.1.1	R4.2.1	R4.4.1	R4.5.1	R5.5.1	R5.7.1	R6.1.1
4m	18000	18500	18000	21000	22000	24000	30000	32000	28000	27000	27000
2m	17000	17500	17000	20000	21000	23000	29000	31000	27000	26000	26000

信州ウッドコーディネーター 令和5年度活動事例報告

星川 嘉諒

①信州カラマツラミナー 定期出荷

昨年度より毎月大型車一台、定期便出荷を県外の大型集成材製造メーカーに対し行う。
単発ではなく毎月決まった量を出荷することにより安定的な原木確保と製材量の計画、乾燥機のスケジュール確保、年間通じた売上金額の計画が可能

今後の課題

カラマツの利用量を増やしていく為には、合板以外に構造材利用が必要となり、今後このボリュームを増やす為にも他集成材工場の販路開拓が必要となる。中大型木造建築の建築計画に多く採用を得るためにも商社、問屋、デベロッパー、設計事務所、大型ビルダー等へのP Rと販路開拓、販売実績の積み重ねが必要となる。

②信州カラマツ 外装材の販路開拓

国内では、スギやヒノキ、輸入材の外層材が多い中、カラマツの特性を生かした外装材はポイントが高いと思われ、県外へのP Rは大切である。カラマツ利用は県外では少ない為、着目される可能性がある。
無塗装や節を見せていた、木材利用というイメージから離脱した新しい使用方法と思われる。

今後の課題

多くのP Rイベント参加と各企業等との情報交換を密に行い、新しい顧客確保を行う必要あり。
カラマツの知名度を上げ性能なども情報発信をして行くことで販路開拓の可能性が出てくる。



信州ウッドコーディネーター 令和5年度活動事例報告

松本 寿弘

①市町村等への県産材利用

公共建築物等への県産材利用の提案

立科町、長野市、千曲市、信濃町、飯綱町、軽井沢町へ訪問

県産材製品、J A S 製材品や森林認証材等の製品提案

《主な実績》

県内の公営住宅建設に、県産材の利用が決定。

体育館改修工事にて、県産材認証合板が使用された。約40m³

《今後の課題》

県産材の利用に関する情報を行政側へ発信し、予算確保等への調整が必要

県産材製品の供給の安定性と品質が重要。

森林セラピー活動
3. すべての人に健康と福祉を
森林セラピー活動等による精神保健や福祉の促進、健康増進サービスの提供

森林・自然を活用した教室
4. 質の高い教育をみんなに
森林教室や森のようちんかん活動等による森林・自然を活用した学習、習字・写生活動、絵の鑑賞等による森林・自然に関する学習のスキル等を醸成した若年層の育成、林業等への社会参加の促進等によるジェンダー平等の達成

水に関係する生態系の保護
6. 安全な水とトイレを世界中に
森づくり活動等による水循環、森林等の水に関係する生態系の保護、回復

森林バイオマスの利用
7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに
森林バイオマスの利用等による再生可能エネルギーの創出の拡大

森林資源の持続的管理と利用
12. つくる責任 つかう責任
森づくり、木づかい活動による森林資源の持続的管理・利用、木材のストック・活用等による建築物の防災、木づかいを基にした持続的な公共施設、森林とつなぐ「環境等」による自然と調ったライフスタイルに関する情報提供や意識の醸成

自然災害への適応
13. 気候変動に具体的な対策を
森づくり活動による自然災害に対するレジリエンス、適応力の強化

海洋、沿岸の生態系を守る
14. 海の豊かさを守ろう
森づくり活動等による海浜及び沿岸の生態系に関する持続的な管理・保全

森林生態系保全
15. 陸の豊かさも守ろう
森づくり活動等による陸域生態系サービスの保全、回復、持続可能な利用、森林、森林再生の増進、森の健全活動による森林生態系保全等のための資金の確保、森林管理計画の策定

2030年に向けて
世界が目標を達成
「持続可能な開発目標」です



信州ウッドコーディネーター 令和5年度活動事例報告

松本 寿弘

② 県産材の利用拡大と販路拡大

- ・ 県内・県外への展示会等に参加し、住宅・非住宅等への県産材利用拡大に向けた県産材製品の提案と情報発信
- ・ セミナーとあわせて、県産材製品商談会を行ったマッチング支援
- ・ 設計事務所等建設関連の方々を案内し、県内製造工場へ訪問したマッチング支援

《 主な実績 》

県内の非住宅施設への県産材利用に向けて検討中

《 今後の課題 》

県産材の特性や需要に応じたマーケティング戦略が重要。
商談につながる継続的な普及活動と情報収集。



長野県林務部



信州ウッドコーディネーター

活動報告

瑞穂木材(株) 専務取締役 宮崎淳貴



自己紹介

宮崎淳貴(36歳) 4代目

木島平中学校→上田西高等学校→日本大学建築学部
→ナイス(株)→瑞穂木材(株)10年目

現在の活動(自社以外)

長野県林務部 信州ウッドコーディネーター

日本木材青壮年団体連合会 全国大会委員長

長野県木材青壮年団体連合会 会長

(一社)みゆき野青年会議所 副理事長

マルサン青年部会 直前会長

建築士会 中高支部 青年女性部委員

木島平村商工会青年部 理事



日本木材青壮年団体連合会

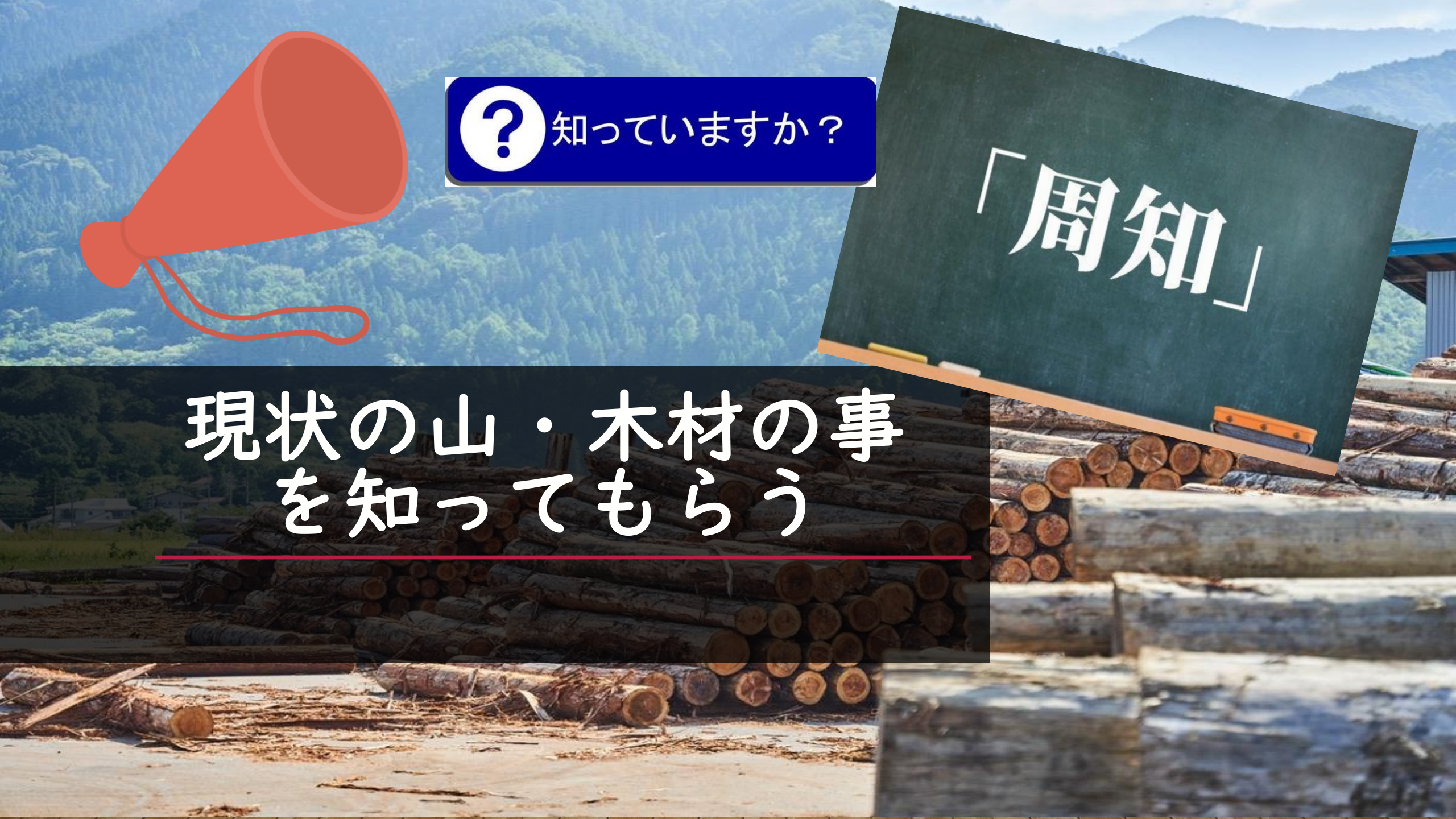




知っていますか？

「周知」

現状の山・木材の事
を知ってもらおう





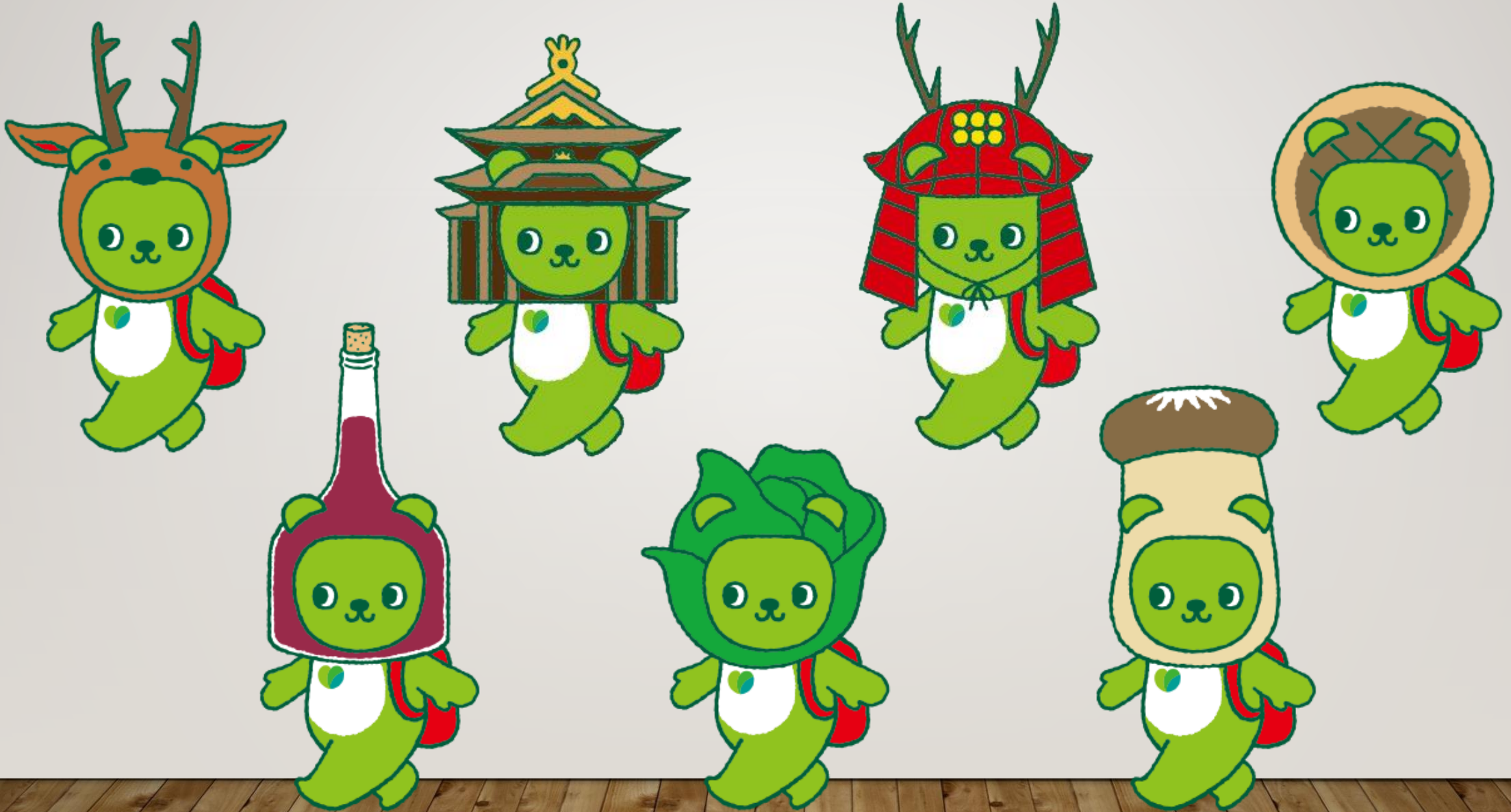
アルクマ

木材仕様デザイン

コンペを開催

携わる方々を増やす

既存のアルクマ バリエーション



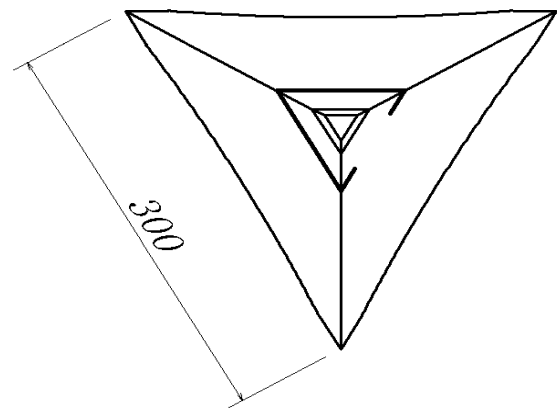
wood pylon

長野県産

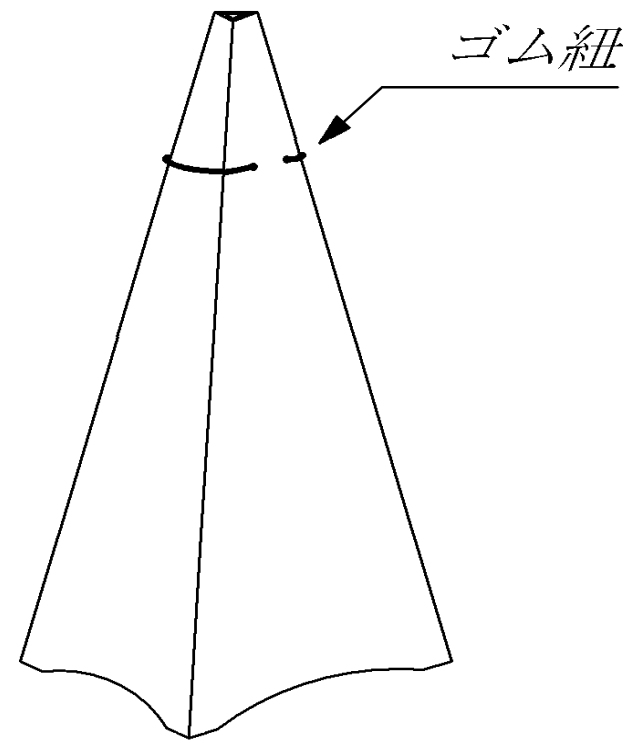
新商品の普及

- ・ 県庁に寄贈を行う
- ・ プレスリリースで周知
- ・ 製造の懸念点のお手伝い

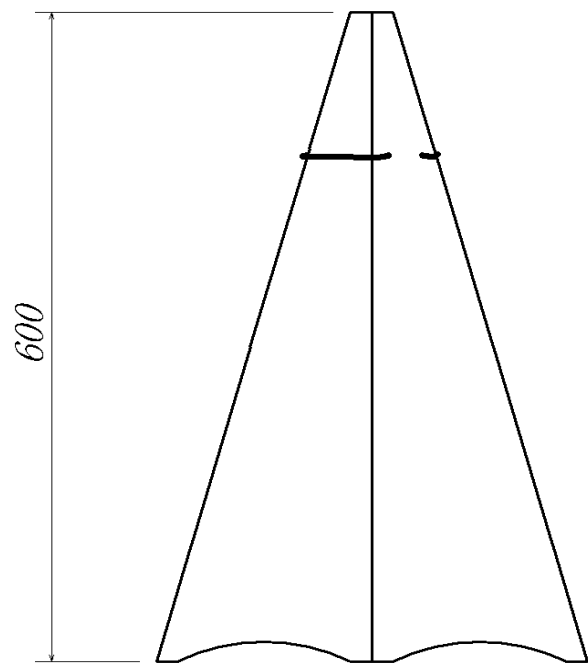




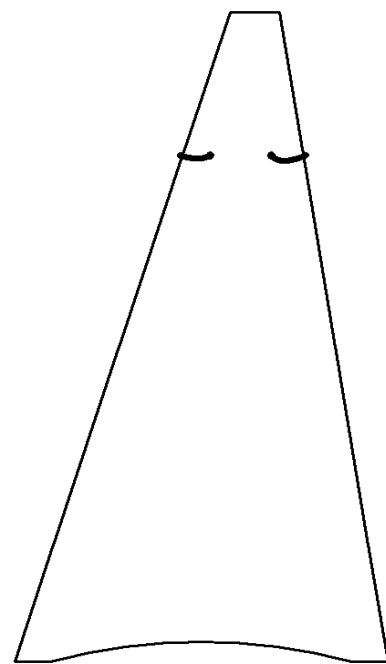
組立上面図



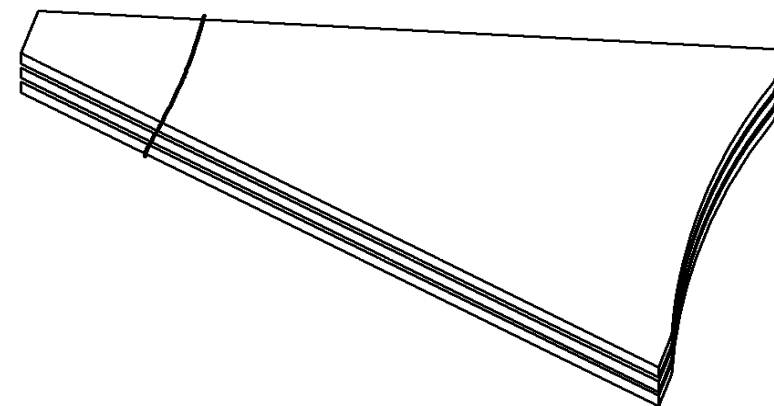
組立斜視図



組立正面図



組立側面図



折り畳み図



県産材利用促進PRプロモーション

協賛企画書



森林をとりまく環境問題が深刻化する中、本来の森の果たす役割をみつめ直し、森林復活の大切さを発信していこうと、2008年の夏にSBC豊かな森林キャンペーンがスタートしました。

今では、県内の森林は収穫期を迎え、主伐・再造林を進め、同時に、伐採された木材を資源としてどのように活用していくか考え、普及していくことが課題となっています。

そこで、SBCラジオでは、15年の歳月の中で、変化した長野県の森林の現状を踏まえ、「豊かな森林キャンペーン」を新たなキーワードである「県産材利用促進」という要素を加えることにより実施していくことといたします。

新しいキャンペーンでは、里山の保全や森林の保護育成など、環境保全としての観点を踏まえたうえで、収穫期を迎えた森林の皆伐再造林を呼びかけます。さらに、収穫、加工された県産材をどのように消費していくのかを考え、利用推進を進めていくことに主眼を置き、県民に対し県産材の普及を啓発していきます。

SBCラジオの番組、啓発CM、イベント活動を通じ、県産材の活用をご理解頂き、森への親近感を抱いてもらうとともに、里山の大切さや地球環境への警鐘としていきます。付きましては、この企画の主旨にご賛同いただき、ご協賛賜りますようお願い申し上げます。

ろくちゃんの森・・・

長野県の「森林の里親促進 f 事業」を利用して、長野市中条に山林33haを整備する契約を結び対象の森を「ろくちゃんの森」と命名。SBC、長野県、長野市、長野森林組合、信州大学が連携する産学官連携プロジェクトとして、間伐や除伐、遊歩道整備など森の整備、活性化に努めています。



- 主催 信越放送株式会社
- 協賛 各社
- 事業内容 信州大学農学部より講師を招き、森林についての学術的考察をお聞きする
信州大学特別講座の他、ろくちゃんの森の学校では、各回ごとに親子を中心に、
約40～50名募集し、長野森林組合の指導の下、森林整備を体験したり、
木工工作などを行います。
- スケジュール 5月 13日(土) 長野信用金庫100周年記念植樹祭in須坂市臥竜公園
6月 4日(日) ろくちゃんの森の学校
10月 15日(日) ろくちゃんの森の学校
12月 18日(月) 信州大学特別講座in長野西校中条校
- 放送事業 SBCラジオでは、毎週水曜日9時40分から「ずくだせ森林問答」、毎週火曜日9時45分から
「私を森林に連れてって」を放送。森林の話題を、クイズやゲストインタビューにてお伝えします。
また年末には「豊かな森林キャンペーン」と題して、各種イベントの様子をお伝えしています。



SDGsの精神とともに



- 豊かな森林キャンペーンは、長野県の森林を守り育てていくだけでなく、森林資源を収穫し利用していくことが、人工林の皆伐再造林を可能とし、自然の循環を促すと考えます。
- そこで、SDGsの4つ目標について改めて啓発していきたいと考えます。
 - 目標7：木材チップ供給を通じ、バイオマス発電でクリーンエネルギーの生産
 - 目標9：県産材の利用促進を実現し、県内の林業の基盤をゆるぎないものとする。
 - 目標13：森林保全を推進し、二酸化炭素の削減効果を持続性のあるものとする。
 - 目標15：森林が生み出す、資源、環境を守り、住民の生活を豊かにする。



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

2024年度 豊かな森林キャンペーン 企画概要

- 主催 信越放送株式会社
- 企画監修 信州大学農学部
- レギュラー番組
 - 毎週水曜日 9:40～「ずくだせ森林問答」
森林に関するクイズを出題し、リスナーと森林について考えます。
 - 毎週火曜日 9:45～「私を森林に連れてって」
森林に関するゲストをお招きして、様々なお話しをお伺いします。
- 単発番組
 - 年末特別番組「豊かな森林キャンペーン」
一年の活動を振り返る特別番組
 - 長野県森林組合長会特別番組「信州の山から届け！森人日記」(仮題)
県下18の森林組合からゲストを招いてのインタビュー番組
- イベント
 - 「ろくちゃんの森の学校」
春と秋に長野市中条にある「ろくちゃんの森」開催されるイベント。
園芸家の矢澤秀成先生の指導の下、森林について学んだり、
木材を使用した工作をします。
 - 「ろくちゃんの森の学校」信州大学農学部特別講座
長野西高校中条校で行われる、信州大学農学部の先生による特別講座



信州大学特別講座 堤教授



県産材利用促進PRプロモーションのご提案

豊かな森林キャンペーンでは今年新たに「県産材利用促進PRプロモーション」を実施致します。この企画では県産材の生産・販売・利用にかかわる団体・企業様にご協力を頂き、それぞれの活動内容について、ラジオで発信してまいります。

■ラジオ番組放送

★ぜひだせえぶりでい内「私を森林に連れてって」 毎週火曜日 9:45～では、2週・4週に不定期で「知ろう！語ろう！県産材」をテーマに、ゲストをお招きし、県産材の生産から利用までのお話をお聞きします。

■啓発スポットCMの放送

★県産材利用促進につながるラジオCMを制作し、1年にわたり放送いたします。

■啓発スポット例(様々な業種のCMを制作放送いたします)

★20秒 SBCラジオ 豊かな森林キャンペーン 長野県の森林は今収穫期を迎えました。伐採された県産材を地元で消費し再造林につなげましょう。長野県の森林を守るために、県産材の利用をお願いします。

★40秒 SBCラジオ 豊かな森林キャンペーン このキャンペーンは今年で15年。先人たちが植樹した長野県の森林は地域の皆様の理解のもと、大きく成長し、収穫期を迎えました。伐採された木材は、地域の大切な資源。地域で消費することで、再造林が可能となり、長野県の森林を守ることにつながります。次の世代の為に県産材の利用をお願いいたします。



ご協賛内容

- ずくだせえぶりでい内 「私を森林に連れてって～知ろう！語ろう！県産材」
毎週火曜日の2週・4週 9:45～約5分 1回のご出演（スタジオまたは電話）
* 出演日はご相談いたします。
- 貴社名入り県産材利用啓発ラジオスポットぶら下りCM 20秒 全県6本
- ラジオ20秒オリジナルスポット 全県 6本

協賛金額 150、000円 (税別)



ご協賛内容

豊かな森林キャンペーン



- すぐだせえぶりでい内 「私を森林に連れてって～知ろう！語ろう！県産材」
毎週火曜日の2週・4週 9:45～約5分 1回のご出演（スタジオまたは電話）
* 出演日はご相談いたします。
- 貴社名入り県産材利用啓発ラジオスポットぶら下りCM 20秒 全県 14本
- ラジオ20秒オリジナルスポット 全県 14本
- 年末特番「豊かな森林キャンペーン」 ご提供 20秒 全県 1本
- ろくちゃんの森の学校 協賛社名露出
長野市中条で年2回実施している「ろくちゃんの森の学校」の立て看板に
協賛社名を表記いたします。（連名表記）

協賛金額 300,000円 (税別)



全国会員長野大会

2024年6月7日(金)・8日(土)

「結-ゆい-、そして次世代へ」～今の行動が未来を創る～



日本木材青壮年団体連合会
令和5年度 会長
島田 直政

平素より全国会員の皆様には、日本木材青壮年団体連合会の活動に際しまして、多大なるご理解、ご支援を賜っております事厚く御礼申し上げます。

令和5年度の日本木青連は「結-ゆい-、そして次世代へ」～会員同士が支え合える日本木青連をめざして～をスローガンに掲げ活動してきました。

その活動の集大成が令和6年6月8日土曜日に「第69回全国会員長野大会」が開催されます。今年度の執行部、常任理事、理事のみんなが切磋琢磨し1年活動した成果報告を存分に披露させていただきます。そして会員皆様の1年の活動と共に称えあえる場にしたいと思います。

日本木青連とは、「業界振興の担い手育成」のために設立された団体です。会員同士がお互いの会社の強みを持ち寄り、互いに交換し合うことで社業が発展し、更には業界を発展させることができたらこんなに素晴らしいことはありません。今回そんな集える場を北信越地区協議会、長野県木青連はしつらえる準備をしております。

是非、長野にお越し頂き、会員同士が交流を深め、木材業界発展のために共に行動しましょう。全ては次世代のために!!



日本木材青壮年団体連合会
令和5年度 全国会員長野大会実行委員長
島崎 淳貴

第69回全国会員長野大会を令和6年6月8日(土)に開催いたします。

【「結-ゆい-」そして次世代へ～今の行動が未来を創る～】を大会スローガンに掲げ、来る日に向けて準備を進めております。先輩方が作り上げてきた木材業界・日本木青連は素晴らしい歴史であり、感謝申し上げます。この変化の速い時代、今は挑戦あるのみです。これまで「当たり前」だった常識を疑い、失敗を恐れず「若き観智と情熱で」挑戦したいと思ひ、業界の枠を超えてあらゆる世代・団体・行政を結び付ける大会を試みるとともに、次世代にバトンを繋げていく大会にしたいと考えております。当日は信州の豊かな大自然と、大自然から生み出される食材を堪能し、教育県長野の魅力にも触れて頂ければと存じます。

全国でご活躍されている同志の皆様とお会いできることを楽しみにしております。是非とも多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

大会スケジュール

◆理事会

日時：6月7日(金) 9:00～
会場：ホテル国際21

- 10:00～10:30 令和5年度常任理事会
- 11:00～12:00 令和5年度理事会
- 12:30～15:30 令和6年度理事会
- 15:45～16:15 第141回通常総会

◆前夜祭

日時：6月7日(金) 19:00～
会場：ホテル国際21 千歳

- 18:30～ 受付開始
- 19:00～20:30 前夜祭

◆大会式典

日時：6月8日(土) 13:30～
会場：長野市芸術館

- 10:00～13:30 登録受付
- 13:30～15:15 大会式典
- 15:30～16:30 記念講演会

◆大懇親会

日時：6月8日(土) 18:30～
会場：ホテル国際21 千歳

- 18:00～ 受付開始
- 18:30～20:30 大懇親会

前夜祭登録料 12,000円

大会登録料 18,000円

◆大会式典 式次第(予定)

- 開会宣言(13:30)
- 国歌斉唱
- 木青連会歌斉唱
- 綱領唱和
- 物故者追悼
- 日本木青連令和5年度会長挨拶
- 来賓祝辞 農林水産省
国土交通省
長野県知事
長野市長
衆議院議員
- 来賓紹介
- 日本木青連歴代会長紹介
- 長野県木青連歴代会長紹介
- 令和5年度役員紹介
- 各地区協議会紹介
- 祝電披露
- 木工工作コンクール表彰式
- 木材活用コンクール表彰式
- 引継ぎ伝達式
- 令和6年度会長所信表明
- 令和6年度役員紹介
- 感謝状贈呈
- 次年度全国会員大会開催地発表
- 全国会員大会 鍵伝達式
- 令和6年度大会実行委員長挨拶
- 閉会宣言
休憩
- 記念講演(15:30)

記念講演

講師 厚切りジェイソン氏

- 本 名/ジェイソン・デビッド・ダニエルソン
- 生年月日/1986年4月9日(37歳)
- 出身地/アメリカ ミシガン州
- 趣 味/鳥(中型インコのグリフくん)
国際ニュースについて勉強、
三姉妹の子育て



WHY JAPANESE PEOPLE!?

17歳でミシガン州立大学へ飛び入学。イリノイ大学アーバナ・シャンペーン校エンジニアリング学部コンピューターサイエンス学科修士課程終了。GE(ゼネラル・エレクトリック)にプログラマーとして入社。2011年に外資系企業に日本法人社長として来日。現在はテラスカイのグローバルアライアンス部長、テラスカイベンチャーズの取締役として活動。

また独自の節約術などお金に対する考え方が好評を得ており、新たな一面を見せている。2021年11月に発売した「ジェイソン流 お金の増やし方」(びあ)が70万部突破!また、2023年11月20日には待望の2作目「ジェイソン流お金の稼ぎ方」を出版。

会場案内

理事会
前夜祭
大懇親会

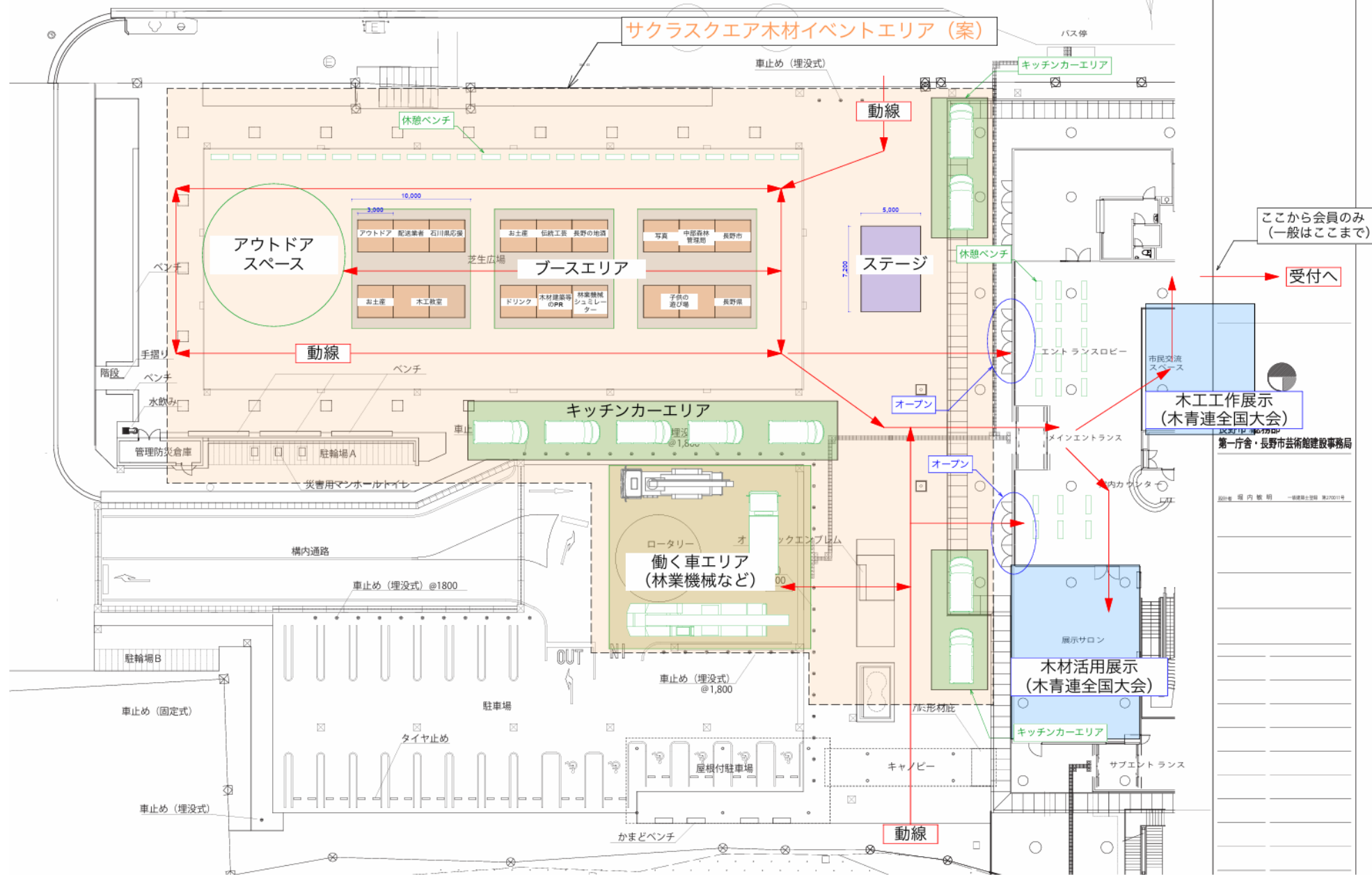
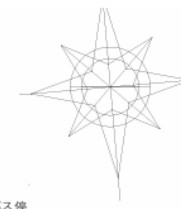
ホテル国際21
〒380-0803 長野市東町576
<https://www.kokusai21.jp>



大会式典

長野市芸術館
〒380-8512 長野市大字鶴賀緑町1613
<https://www.nagano-arts.or.jp>





ここから会員のみ (一般はここまで)

受付へ

木工工作展示 (木青連全国大会)

第一庁舎・長野市芸術館建設事務局

木材活用展示 (木青連全国大会)

キッチンカーエリア

ご視聴ありがとうございました。

信州ウッドコーディネータ 令和5年度活動事例報告

Cood. 目時亮

活動実績 I

co屋 POD&SAIL (令和4年度ウッドチェンジ事業)

※ co屋 POD&SAIL 信州木造り工房による県産木材を活用した製品

・木製組み立て式小屋POD (意匠登録) ・木製組み立て式屋台SAIL

県内各市町村と姉妹提携や協定を結んでいる首都圏都市間での**森林環境贈与税**の活用。

県産木材・市町村産木材で作られた製品を購入してもらい、そして購入先の自治体で催される様々なイベントで活用しながら長野県産木材を認知してもらい触れてもらう活動。

活動実績 I

co屋 POD&SAIL (令和4年度ウッドチェンジ事業)

※ co屋 POD&SAIL 信州木造り工房による県産木材を活用した製品

・木製組み立て式小屋POD (意匠登録) ・木製組み立て式屋台SAIL

その第1弾として！

協定都市

須坂市 ⇄ 神奈川県海老名市

須坂市産木材で
co屋POD&SAIL
を製作

須坂市産木材で製作されたco屋POD&SAILを
森林環境贈与税を活用して購入。
購入したco屋POD&SAILを自治体が運営する
さまざまなイベントで活用しながら、市民
が実際に木に触れながら木の良さや環境に
ついての理解を深めてもらう。

活動実績 I

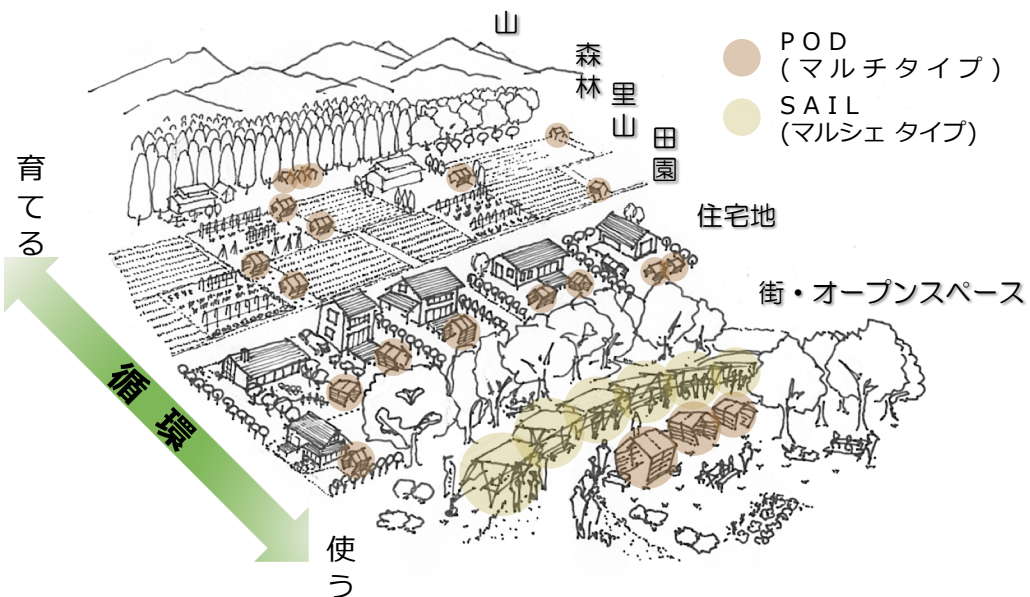
co屋 POD&SAIL (令和4年度ウッドチェンジ事業)

※ co屋 POD&SAIL 信州木造り工房による県産木材を活用した製品

・木製組み立て式小屋POD (意匠登録) ・木製組み立て式屋台SAIL

co屋POD&SAIL(ポッド&セイル)とは？

美しい信州の風景に
共生するデザイン



活動実績 I

co屋 POD&SAIL (令和4年度ウッドチェンジ事業)

※ co屋 POD&SAIL 信州木造り工房による県産木材を活用した製品

- ・木製組み立て式小屋POD (意匠登録) ・木製組み立て式屋台SAIL

今後の課題と展開

- ・まだまだ知られていない！
- ・どのような形で活用できるのか？

大企業などの大口での展開だけではなく、co屋POD&SAILのような小さなものでも様々な場面で活用できるモノを企画し、製作して、SNSなどを活用したり都内の県運営の施設でアピールしてく。

建築資材だけではなく、県産・市町村産木材の製品も含めて、**森林環境贈与税**の活用を、県内各市町村と姉妹提携や協定を結んでいる首都圏の市町村に周知し、導入の検討を促す。

活動実績 I

co屋 POD&SAIL (令和4年度ウッドチェンジ事業)

※ co屋 POD&SAIL 信州木造り工房による県産木材を活用した製品

・木製組み立て式小屋POD (意匠登録) ・木製組み立て式屋台SAIL

須坂市 ⇄ 神奈川県海老名市

県産材を
通しての交流

海老名市主催の“海老名市民まつり”
購入頂いたPOD&SAILの展示と活用

イベントでは、須坂市産杉の製材端材を
活用したクリスマスツリーづくりの
ワークショップを提案し、実際に木に触
れ木の香りを楽しめるワークショップ



須坂市役所での
海老名市職員との視察
市産杉材のPOD&SAIL



県産材で「空き家」問題に取り組む

千曲市役所「ふるさと振興課」から

**“市営の空き家になっている教員住宅を
「移住促進の体験住宅」として活用したい...”**

リノベーションで県産木材、市産木材を活用できないか？

県産材で「空き家」問題に取り組む

リノベーションで

県産木材、市産木材を活用 できないか？

人口減少に伴う「空き家」問題の進行！

- ▶ 人口減少化の進行と依然と都市部への人口流入による地方の「空き家」増加の問題 ⇨ **過疎化・廃墟化・荒廃農地化など**
- ▶ 人口減少の著しい地域ほど空き家率も比例して高くなっている現象が伺える。 ⇨ **限界集落化など**

県産材で「空き家」問題に取り組む

解決策の一つとして

市営教員住宅
空き家

リノベーション



移住体験住宅

県産・市産木材
活用

現在、古民家再生で県産木材をリノベに活用していることから、この市営教員住宅のリノベにおいても、**外装材、内部仕上材に県産・市産木材の使用をデザイン**し、“移住したい”、“住んでみたい”を促進させる体験住宅として**アップサイクル**させて、

①移住促進、②空き家の活用、③県産・市産木材の活用を同時に進められる！

県産材で「空き家」問題に取り組む

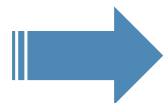
魅力の再生：空き家活用における課題と可能性

空き家の活用には、いくつかの課題が存在します。

それらを解決することで、素晴らしい魅力が広がる可能性があります。

活用を
デザインする

劣化・傷み



部材の取り替え



県産木材の活用

経年変化による傷み
シロアリ等による損傷



針葉樹系：構造材下地材として

北信：スギ

東信：カラマツ

中信：アカマツ・カラマツ

南信：ヒノキ・カラマツ

県産材で「空き家」問題に取り組む

魅力の再生：空き家活用における課題と可能性

空き家の活用には、いくつかの課題が存在します。

それらを解決することで、素晴らしい魅力が広がる可能性があります。

暮らし方が 合わない

時代や家族構成などの
違いから間取りや
デザインの好み



活用を
デザインする



リノベーションによる
用途の変更や
多様な利用価値の創出

新たな部位・機能



県産木材の活用

広葉樹系：造作材
仕上材として

県産材で「空き家」問題に取り組む

リノベーションで

県産木材、市産木材を活用 できないか？

今後の課題と展開

- ・ 改修予算確保と役所内の連携？
 - ・ 改修の範囲とデザインの内容？
 - ・ 誰がデザインし、誰が造るか？
- ▶ 増え続ける「空き家」問題の一つの解決策に？
 - ▶ 県産材の一供給先としての「空き家」？
 - ▶ サイクルワールドによる県民や移住者への住環境提供？